

JF-IETF-RFC5009

アーリーメディア認可のための セッション開始プロトコル(SIP)に対する プライベートヘッダ(P-Header)拡張

Private Header (P-Header) Extension to
the Session Initiation Protocol (SIP)
for Authorization of Early Media

第 1 版

2017 年 5 月 25 日制定

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETF において制定された RFC5009 に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2017年5月25日	制定

4. 工業所有権

TTC の「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC3261, RFC2119, RFC3959, RFC3960, RFC4234, RFC3325, RFC4566, RFC3264, RFC3841, RFC3311, RFC3312, RFC3262

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、3rd-Generation Partnership Project (3GPP) IP Multimedia Subsystems (IMS)においてアーリーメディアフローの認可を目的として、European Telecommunications Standards Institute (ETSI) 及び Telecommunications and Internet-converged Services and Protocols for Advanced Networks (TISPAN)で利用される SIP のプライベートヘッダを規定する。本ヘッダは他の SIP 網と相互接続し、アーリーダイアログ状態のメディアフローを制御する必要がある SIP 網で有用である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC5009: 「Private Header (P-Header) Extension to the Session Initiation Protocol (SIP) for Authorization of Early Media」